



岐阜いのちの電話



一輪の存在感 ○.○

話してみませんか
あなたの悩み…

相談電話/
058-277-4343

相談時間/
月～日曜日
午後7時から午後10時まで

第1・第3金曜日のみ
午後7時から連続24時間

開設時間内でも防災警報・注意報の発令(悪天候)や「相談ボランティア」の都合が付かない場合などで「休止」することがあります。ご了承ください。

ナビダイヤル／0570-783-556 (全国共通番号) 毎日 午前10時から午後10時まで

フリーダイヤル／0120-783-556 毎月10日 午前8時から連続24時間

メール相談／「岐阜いのちの電話」のホームページに必要事項が掲載されています。

相談は携帯メールもご利用できます。

inochi-mail@ktroad.ne.jp (5日以内に返信します)

変わっていくものと変わらないもの

—令和を迎えて

伊藤 宗親

令和となって半年が経ちました。新たな時代という実感を強く感じないまでも、書類を書くときなど日付欄の元号を見ると「そうだったな」と思いを深くします。その前の平成、さらにその前の昭和と遡っていくと、それぞれの特徴のようなものが、自分自身の体験に連なって浮かんできます。私自身は、大学生までがほぼ昭和で、専門職としてのトレーニングがスタートしたのが平成という感じなのですが、思えば、茨城いのちの電話に関わるようになったのが平成の中頃でした。その後、岐阜に移ってしばらくして、ご縁があり岐阜いのちの電話にも断続的に関わるようになった次第です。

臨床心理学を専門としてここまでやってきて、自分自身の年齢や経験量などとも当然関係しますが、それでも、かつてのクライアントたちと今の方々とは異なる印象を持っています。とりわけ、子を持つ親御さんのありようがすっかり変わってしまった感があります。例えば、以前でしたら、父親が来談するのは極めてまれでしたし、怒りをあらわにする母親も相対的には少なかった気がします。病院というフィールドでも気分の問題を抱えた患者さんが多くなり、典型的ないわゆる精神病の症状を訴える方が減ってきたようにも感じます。これらも時代の変化でしょうか。

ひとは、時代や環境をまたぐ際に知らず知らずのうちに新たなものの方へ合わせていこうとします。そして、古いものを上手に捨てていくのです。ただ、最近強く思うのは、変化のスピードがとても速い、ということです。ということは、新たなものへシフトしていく際に、かつてのようには上手にできない可能性が高い、ということです。そのスピードに合わせれば別ですが、ほとんどのひとが合わせられない速度で変化しているのではないのでしょうか。ですから、無理をすれば当然負荷がかかるわけで、その結果、具合が悪くなったりしても仕方がないのです。私自身、日々嫌になることも多く、そういうことはだいたい忘れていきます。この「忘れる」という対処を、お

そらくは身につけたのだろう、つまり、無自覚的に”変わらない”という選択をしているだろうと今のところ思っています。

カウンセリングをしていて、ひとの悩みは核のところでは時代を経てもそれほど変わっていないのかな、とよく思います。心配性のひとは変わらずいますし、親はいつでも子どもを心配していますし、自分の生き方がこれで正しいのかと悩むひともいますし……。ただ、その表現形は時代によって大きく変わっているのかなとも思うのです。スピーディな社会がそういう変化を強いるのでしょうか。

対人援助の仕事というのは、つい、よい方向に変わればよいなと思ってしまいがちです。しかし、私たちがそうであるように、本人にとってスピードの速い変化はついていけないものです。新しいものだけがいいものだというものでもありませんし、時には愚直なまでに、「変わらない」ということに付き合うのもひとつのあり方ではないでしょうか。スピードを求める時代だからこそ、かえてそのような姿勢が価値あるものになっていくかもしれません。大事なものほど変わらないでしょうし、その変らないことにも意味があると思います。ですから、本当の変化とは、「変わらない」ままであり続けることの先にあるような気がします。もちろん、変えるべきものもありますので、私たちは変えるべきものと変えなくていいものとのを、これまで以上に判断する必要があるのだと思います。それすらも、世間は「早く」と急かしますが、自分のペースを保つことが重要です。

令和になり、SNSの時代になり、電話？という時代だからこそ、いのちの電話は変わらずにあり続けることに意味があると改めて思った次第です。



相談員の声

いのちの電話相談員全国研修会に参加して

今年のいのち相談員全国研修会は、岡山市を会場に行われた。

記念講演、シンポジウム、分科会など準備されたなか、ひととき私の目にズームアップしてきた分科会が、「ハンセン病を知ってますか？」という長島愛生園を訪問するフィールドワークだった。

早速申し込んだが、申し込み多数で抽選に漏れ、無念の思いで他の分科会に変更した。同じ岐阜の参加メンバーも何人が申し込みしたそうだが皆抽選に外れ、分科会で知り合った他県の人も同じことを言っていた。全国の仲間が同じような思いでいたのだと再確認した。

岡山は瀬戸内海にたくさんの島があり、その内のひとつの島の西と東に長島愛生園、邑久（おく）光明園のふたつのハンセン病療養所があり、そこには完治した方たちが、今も生活している。

つい先日、ハンセン病家族の会が差別訴訟で勝訴し、国は家族への補償を約束した。ライ菌の感染力は大変弱く、外国では隔離政策を廃止していったのに日本は隔離政策をそのまま続け、廃止までに随分かかった。その間にも差別は続き、本人も家族もどんなに辛い立場に立たされていたことだろう。家族同士なのに自由にやり取り出来ない、身内のことがおあつぴらに話せないなどなど想像しても胸が締めつけら

れる。

家族訴訟判決の時期で、たまたまなのか意図的になのか、つい最近、名古屋で「砂の器 シネマコンサート」が企画されたり、映画「砂の器」が上映されたりしている。この映画の主人公の作曲家は、自分の出自を明かせず偽り、頑なに何が何でも子どもはダメだと言い張る。その強い思いの裏にある差別。胸に迫ってきた。彼の実父はハンセン病患者なのだ。

長い間隔離され、高齢となって、今も住み続けていらっしゃる方たちがどんな風に語ってくださるかはわからないが、直接言葉を聞いてみたかった。

大会は、記念講演も分科会もとても勉強になって充実していたが、せっかくの企画に参加出来なかったことが心残りだった。

(Y・Y)



会費・寄附に対する感謝報告

下記の方々から岐阜いのちの電話協会へ暖かいご支援をいただきました。心から感謝して報告いたします。今後ともご支援賜りますようお願いいたします。

【個人】2019年5月1日～2019年10月31日領収分

順不同・敬称略

浅倉恵一 (岐阜市)	北谷雅春 (岐阜市)	常富佳子 (岐阜市)	宮田延子 (美濃加茂市)
浅野香子 (各務原市)	後藤道子 (岐阜市)	辻 幾則 (岐阜市)	水野真美子 (岐阜市)
伊藤英子 (藤沢市)	児玉佐喜子 (養老町)	中村紀子 (可児市)	安田良江 (岐阜市)
井上玲子 (岐阜市)	白木裕子 (岐阜市)	中野哲一 (名古屋市)	山田吉則 (美濃市)
岩月和久・彰枝 (豊田市)	鈴木信子 (関市)	長屋光行 (本巣市)	山田宣子 (岐阜市)
岩見三七夫 (美濃市)	杉田憲夫 (岐阜市)	古川秀昭・昭子 (岐阜市)	矢野由子 (大垣市)
太田朋子 (三島市)	高橋清子 (岐阜市)	古川芳子 (名古屋市)	若岡ます美 (岐阜市)
加藤佳代 (岐阜市)	田口弥生子 (岐阜市)	深尾八千代 (岐阜市)	
加納義久 (各務原市)	田口千枝子 (白川町)	蔦田正子 (関市)	この他お名前掲載を希望されない方5名
河台良房 (岐阜市)	田中 良 (岐阜市)	政井千香子 (岐阜市)	

【団体】2019年5月1日～2019年10月31日領収分

順不同・敬称略

岐阜伊奈波ライオンズクラブ (岐阜市)	春陽会 慈恵中央病院 (郡上市)	中津川ライオンズクラブ (中津川市)
岐阜カウンセリング研究会 (岐阜市)	NPOチャイルドライン岐阜 (岐阜市)	本巣ライオンズクラブ (本巣市)
三進社印刷所 (岐阜市)	中部学院大学宗教委員会 (関市)	やまくりニック山谷教一 (岐阜市)

*2019年11月1日以降にご支援賜りました方々のお名前は広報次号で報告させていただきます。

*広報にお名前掲載を希望されない方は事務局までお知らせください。

～事務局だより～

2019年6月～12月

* 岐阜いのちの電話 ボランティア養成講座

第20期ボランティア相談員8名が講義・基礎トレーニング・ワンディ研修などを受講中、2020年2月閉講式に向けて頑張っています。また、第19期生4名が10月20日、正式に認定され相談員として活躍しています。

* 第36回のちの電話相談員全国研修会 おかやま大会に参加

今回は第16回「アジア太平洋地域電話カウンセリング国際会議」も同時に実施されて10月24日～10月26日岡山県で「いのちの電話相談員全国研修会」が開かれました。

全国・海外から約600名の相談員が集まり、岐阜からは9名が参加して全国の相談員との交流・情報交換を行いました。

* 自殺予防にむけての 相談員研修を実施

現役相談員の資質向上のため「フリーダイヤル研修」を11月16日実施しました。

* いのちの電話 東海ブロック研修会

2019年11月30日、静岡にて「いのちの電話東海ブロック研修会」が実施されました。岐阜から3名が出席、各センターとの情報交換や問題点などの話し合いをしました。

予告



自殺予防講演会開催

2020年2月9日(日)14時～16時(受付13時30分～)、長良川国際会議場5階国際会議室において自殺予防講演会を開催予定。～地域で支える大切ないのち～「誰も自殺に追い込まれることのない“生き心地のよい岐阜”をめざして」と題して、自殺対策支援センター ライフリンク代表の清水康之氏を講師にお招きして講演会を開催します。入場無料・予約不要。但し、会場満席の場合はお断りする場合があります。

予告



第21期 ボランティア相談員の 養成講座

第21期ボランティア相談員の養成講座を2020年6月から行います。募集は4月からです。

期 間：2020年6月～2021年3月

受講資格：20歳以上

受講料：全課程で27,000円

*詳細はいのちの電話事務局までお問い合わせください。

特定非営利活動法人
岐阜いのちの電話協会

☐岐阜いのちの電話協会ホームページ <http://inochi.ktroad.com/> ☐メール・アドレス inochi@ktroad.ne.jp

〒500-8387 岐阜藪田簡易郵便局 局留
TEL・FAX 058-273-5387 (事務局専用)
発行人 杉田 憲夫・編集 広報委員会